

学校教育自己診断の結果について

このたび、児童・生徒・学生の皆さんや保護者・保証人の皆様には学校教育自己診断にご協力頂き、ありがとうございました。

本校では、学校教育改善の方策を明らかにするため、学校教育自己診断を行い、頂いたご意見を学校運営や教育活動に活かしてきました。

アンケート結果は例年通りグラフ化しました。今年は過去 5 年間の結果を平均したグラフも作成し、質問ごとに、今年、去年、過去の平均の児童・生徒・学生、保護者・保証人、教職員の間にあるギャップを分かりやすく表示して、本校の学校運営や教育活動が児童・生徒・学生、保護者・保証人の皆様のニーズに対応しているかどうかなど、比較、検討しました。この診断により、現在の課題が明らかになり、今後の学校運営や教育活動を見直すきっかけになると考えています。

また、この結果をふまえ、学校協議会委員の方々のご意見もいただき、学校長の「学校経営計画」に反映させ、今後の教育活動をより豊かなものにしていきたいと思いをします。

1 アンケートの方法

「保護者・保証人用」、「児童・生徒・学生用」（小学部児童用、中学部生徒用、高等部生徒用、専修部学生用）、「教職員用」という質問用紙を、平成 30 年 10 月に配付して実施しました。回収率は、教職員が 72%、保護者・保証人が 76%、児童・生徒・学生が 81%でした。

（前回、教職員 77%、保護者・保証人 91%、児童・生徒・学生 85%）

2 評価・集計方法

- i) 小学部児童は、質問に対し「はい、いいえ、わからない」の 3 段階で回答しました。
- ii) その他は、質問に対し「とてもそう思う、すこしそう思う、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない、わからない」の 5 段階で回答しました。
- iii) 「はい、とてもそう思う、すこしそう思う」を肯定的評価とし、「いいえ、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない」を否定的評価として集計し、グラフで表示しました。
- iv) 質問によっては A、B、C、D、E の 5 つに区分して表示したものもあります。